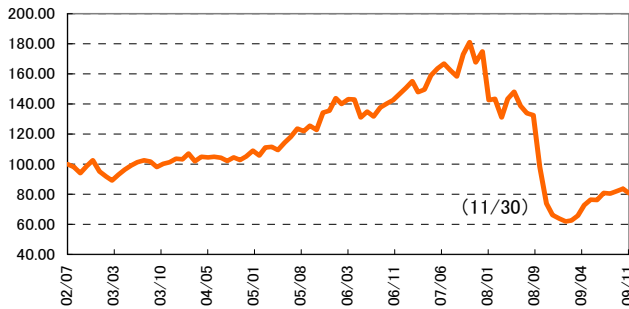


# グローバル株式型

主に世界各国の株式に分散投資することによって、中長期的な成長を目指します。原則として、為替ヘッジは行いません。  
 MSCI WORLDインデックス(注)を上回る投資成果を目指します。  
 (注) MSCI WORLDインデックスとは、モルガン・スタンレー・キャピタル・インターナショナル社が提供する指数で、日本を含む主要各国の株式を包括的に表した指数です。

## ユニット・プライスの推移



ユニット・プライスとは、特別勘定の運用実績を把握するための参考値で、特別勘定の運用を開始した時点を「100」として数値化したものです。

## ユニット・プライスの収益率

収益率	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	5年	設定来
グローバル株式型	▲3.38%	0.25%	5.47%	21.87%	▲44.95%	▲23.25%	▲19.42%
グローバル株式型 ※保険関係費用 控除前	▲3.25%	0.65%	6.27%	23.47%	▲40.14%	▲15.25%	▲7.67%

## 特別勘定資産内訳

	金額(百万円)	構成比(%)
現金・その他	51	0.5
預金	10,744	99.5
投資信託		
合計	10,796	100.0

# グローバル成長株ファンド

【参考】主な投資対象の投資信託の運用状況(出所:日興アセットマネジメント株式会社)

### <基準価額の騰落率>

	1ヶ月	3ヶ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
グローバル成長株ファンド	▲3.26%	0.66%	6.28%	23.90%	▲42.44%	▲12.27%
MSCI ワールドインデックス	▲3.65%	▲2.07%	7.84%	17.55%	▲41.18%	▲10.43%

\*当ファンドの設定日は2001年10月2日です。

### <株式組入上位5ヵ国>

1	アメリカ	47.7%
2	イギリス	11.0%
3	ドイツ	5.7%
4	日本	5.6%
5	スイス	5.5%

### <株式組入上位10銘柄(銘柄数74)>

	銘柄	通貨	業種	比率
1	CISCO SYSTEMS INC	アメリカドル	通信機器	2.6%
2	ORACLE CORP	アメリカドル	ソフトウェア	2.3%
3	APPLE INC	アメリカドル	コンピュータ	2.2%
4	GOOGLE INC-CL A	アメリカドル	インターネット	2.1%
5	XSTRATA PLC	イギリスポンド	鉱業	2.0%
6	AMGEN INC	アメリカドル	バイオテクノロジー	2.0%
7	BHP BILLITON PLC	イギリスポンド	鉱業	1.9%
8	ROCHE HOLDING AG-GENUSSCHEIN	スイスフラン	医薬品	1.9%
9	SCHLUMBERGER LTD	アメリカドル	石油・ガス サービス	1.7%
10	SIEMENS AG-REG	ユーロ	その他製造	1.7%

### <資産構成比>

1	国内株式(先物含む)	5.6%
2	外国株式(先物含む)	90.0%
3	CB	0.0%
4	公社債	0.0%
5	現金その他	4.4%

## <運用コメント>

米国市場は、主要経済指標の改善に加え、FRB(米国連邦準備制度理事会)の低金利政策などの景気刺激策が当面継続するとの見通しから、買い安心感が広がり、中旬にかけて上昇基調をたどりました。その後も、底堅い企業業績や予想を上回る住宅販売件数などを受け、上昇幅を拡大しましたが、月末にかけては、アラブ首長国連邦(UAE)ドバイ首長国の債務返済問題が嫌気され、金融株を中心に軟化しました。欧州市場は、中旬にかけては米国市場に追随したほか、世界的な景気刺激策の継続見通しを背景に金・銅相場が底堅く推移したことなどから、資源株主導で上昇しました。英・欧州小売大手や欧州金融大手の決算内容を好感した買いも相場を支えました。下旬には、ユーロ圏の景況感指数が上振れしたものの、ドバイの信用不安に圧迫され、金融株を中心に軟調に推移しました。

このようななか、ボトムアップによる銘柄選択に基づき、素材セクターや一般消費財・サービスセクターの銘柄などを積み増した一方、金融セクターの銘柄などを一部売却しました。素材セクターでは、工業ガス供給大手を買増しました。同社は、優れた長期の成長見通しとマージン、高いROEなどが好材料であると見ています。一般消費財・サービスセクターでは、中国の家電量販チェーンを新規に組み入れました。同社は、新規出店の継続に加えて納品条件と商品構成の改善により、売上と収益の成長が期待されます。一方、金融セクターでは、CEO交代への懸念から目先株価が下落する恐れがあるとして、総合金融機関を一部売却しました。

11月末現在、ベンチマーク対比でオーバーウェイトとしているセクターは情報技術、一般消費財・サービス、対してアンダーウェイトとしているのは金融、ヘルスケアです。

今後も銘柄選定ならびにセクター選定を重視し、世界のリーディング・カンパニーの経営陣との面談を続け、社内のリサーチ資源を幅広く活用し、徹底的なボトムアップ調査を行なっています。世界的な競争力を有し、地域市場におけるリーダー格の、質の高い成長型企業を選別し、投資を行ないます。

当資料に関する「ご注意いただきたい事項—大切なことから」を5/5ページに掲載していますので必ずご参照ください。

■将来の投資成果を保証するものではありません

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。